

用語集

あ行

アセットマネジメント

保有する資産（アセット）を管理（マネジメント）するための手法であり、持続可能な上下水道事業を実現するため、中長期的な視点に立ち、将来の更新費用や財政収支の見通しを踏まえた計画により、上下水道施設の維持や更新を実践すること。

1日最大給水量

一年を通じて、最も多く給水した日の給水量のこと。

インバータ

直流電圧を交流電圧へ変換し、モーターの回転数を制御する装置のこと。必要以上にモーターを回転させないように制御できるため省エネルギー効果が期待できる。

SNS 《Social Networking Service の略》

交友関係を構築する Web サービスの1つのこと。誰でも参加できる掲示板などとは異なり、主に自分が選択したユーザーとコミュニケーションする仕組みとなっている。

か行

外部精度管理

厚生労働省などの第三者機関が用意した試料（水溶液）を本市が測定し、その測定値について、厚生労働省などの第三者機関が評価する方法のこと。

管 網

水道における配水管のように、管路が分岐や合流によって、全体が網の目のようにつながって配置された管路のこと。

企業債

地方公営企業が行う建設、改良等に要する資金に充てるために起こす地方債のこと。
（地方債：地方公共団体が財政上必要とする資金を外部から調達することによって負担する債務）

基本水量

公衆衛生向上の観点から、生活に必要な水の使用を促すことを目的として、基本料金を負担することで追加料金なしに使用できる水の量のこと。

基本料金

使用した水量にかかわらず、固定的にかかる経費の一部を、契約している方すべてに負担していただく料金のこと。

給水区域

水道事業者が厚生労働大臣の認可を受け、給水を行うこととした区域のこと。

給水人口(世帯)

給水区域内に居住し、水道事業から給水を受けている人口（世帯）のこと。

給水装置

水道局が管理する配水管から分岐して設けられた給水管及びこれに直結する給水器具のこと。お客さまからの給水申込みと負担に基づいて施工及び管理される。

緊急時連絡管

災害などで断水が生じた場合に、都市間で水道水を融通することを目的に布設された管のこと。運用は緊急時のみに限られる。

計画処理区域

公共下水道の整備対象とすべき区域のこと。

下水道クイックプロジェクト

国土交通省が、従来方法にかかわらない新技術の提案や市町村が行う社会実験の技術評価などを行うことにより、下水道未普及地域の早期普及や老朽施設の効率的な改築を図ることを目的に発足させたプロジェクトのこと。

下水道普及率

行政区域内に住んでいる人のうち、どの程度の人が公共下水道を使用できるようになったかを示すものであり、その割合を百分率で示したもの。

下水熱利用

未利用エネルギーである下水の熱を、ビルの冷暖房や給湯、道路の融雪などに利用し、都市の省エネ化や省CO₂化などを図ること。

減価償却費

事業用の固定資産は、長期間にわたって使用するため、現金支払時に単年度の費用とはせず、翌年度以降に、耐用年数の期間に割り振って計上する費用のこと。

公共下水道

主として市街地における下水を排除し、又は、処理するために地方公共団体が管理する下水道で、終末処理場を有するもの。

公共用水域

河川、港湾など公共の用に供される水域のこと。

固定価格買取制度

再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度のこと。

コンポスト

有機性汚泥や廃棄物の処理処分方法としてこれを肥料として再資源化すること。

さ行

再生可能エネルギー

太陽光や太陽熱、風力、水力、地熱など、エネルギーとして永続的に利用できるもの。

残留塩素

塩素処理の結果、消毒効果をもつ有効塩素として水中に残留している塩素のこと。水道法施行規則では、塩素による水道水の消毒と給水栓における残留塩素の濃度が定められている。

GIS（地理情報システム） 《Geographic Information System の略》

デジタル化された地理情報（地図）に、上下水道施設などの情報を重ねることで、それらの情報を管理し、高度な分析なども行うことができるシステムのこと。

事業継続計画（BCP） 《Business Continuity Plan の略》

自然災害などの非常事態が発生しても、水の供給や汚水の処理などの重要な業務が中断しないよう、限られたリソース（人材、資機材など）で適切な業務を行うことを目的とした計画のこと。

資本的収支

「建設改良費」などその効果が将来の収益に対応する支出と、「企業債」などその財源となる収入の収支のこと。

収益的収支

「水道料金」など営業活動に伴う収入と、それに対応する支出の単年度収支のこと。

浄化槽汚泥

便所と連結して、し尿などを処理する設備を浄化槽といい、そこから排出される汚泥のこと。

小水力発電

水のエネルギーを利用し、水車や羽などをまわすことで発電する方式のうち、比較的規模の小さい（1,000 kW 以下）ものこと。

除害施設

工場などの廃水中から、下水道に有害な物質を除去するための施設のこと。

処理可能区域

計画処理区域のうち公共下水道が整備されている区域のこと。

処理可能区域内人口

処理可能区域に居住している人口のこと。

浸入水

汚水を流す下水道の管路施設に流入する汚水以外の水のこと。

水洗化人口

処理可能区域に居住し、公共下水道により排水を処理している人口のこと。

水洗化率

公共下水道が整備されている区域に住んでいる人のうち、どの程度の人が公共下水道を使用しているかを示すものであり、その割合を百分率で示したもの。

水洗便所等改造資金貸付制度

下水道への接続促進を目的とした小樽市の制度であり、水洗化にかかる資金を一定額低い金利などで貸付けすること。

水道普及率

行政区域内に住んでいる人のうち、どの程度の人が水道を使用しているかを示すものであり、その割合を百分率で示したもの。

スケールメリット

規模を大きくすることで得られる効果や利益、優位性のこと。

ストックマネジメント計画

構造物や施設の機能診断に基づく機能保全対策の実施を通じて、既存施設の有効活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減するための技術体系及び管理手法の総称のこと。

スペックダウン

施設や設備の更新にあわせ、性能（サイズ、耐用年数、能力など）の合理化に取り組むこと。

送水管

浄水場で処理した水を配水池に送る管路のこと。

た行

ダウンサイジング

コストの削減や効率化を目的に、施設の規模を小さくすること。

長期前受金戻入

固定資産の取得に伴い交付された補助金等を、現金の交付時に単年度の収益とはせず、翌年度以降に、耐用年数の期間に割り振って計上する収益のこと。

導水管

川などから取水した水を浄水場まで送る管路のこと。

特定施設

水質汚濁防止法で定める、人の健康や生活環境を害するおそれのあるものを含んだ水を排出する施設のこと。特定施設を設置している工場又は事業場を特定事業場という。

な行

内部精度管理

本市検査職員間の検査精度の画一化を図るための方法のこと。

二次元コード

バーコードが横一列の一次元コードであるのに対し、縦と横の二次元のコードを使うことにより、より多くの情報を収めることができる。代表的なものに㈱デンソーウェーブが商標登録しているQRコードがある。

は行

バイオアッセイ装置

魚類の「生死」や異常行動により、原水（川から取水した水）への有害物質の混入をチェックする方法のこと。

配水管

配水池でためた水を家庭などに配るための管路のこと。

配水池

浄水場から送られてくる水の配水量を調整し、非常時における飲料水の確保や火災時における消火用水量の確保のため、水道水を一時的にためる施設（池）のこと。

BOD

溶存酸素の存在のもとで、有機物が生物化学的に分解され安定化するために要する酸素量をいい、水の汚濁状態を示す指標の一つ。

B-DASHプロジェクト

国土交通省が、新技術の開発及び実用化を加速することで下水道事業における循環型社会の構築やライフサイクルコストの縮減、浸水対策、老朽化対策を実現することなどを目的として実施している事業のこと。

PDCAサイクル

計画（Plan）、実行（Do）、検証（Check）、見直し（Action）の過程を繰り返すことにより、継続的な改善を推進する管理手法のこと。

ブラックアウト

電力会社が管轄する地域の全てで停電が起こる現象のこと。

包括的民間委託

一定の性能（機能）の確保を管理条件として課しつつ、運転方法などの詳細については民間事業者に任せ、複数の業務や施設を複数年で包括的に委託すること。受託した民間事業者の創意工夫やノウハウを活用し、上下水道事業の運営を効率的かつ効果的に行うことを目的とする。

法定耐用年数

地方公営企業法施行規則における有形固定資産の耐用年数のこと。

補填財源使用可能額

内部留保資金として、資本的収支の不足額を補填することが可能な資金のこと。過年度における利益処分により積み立てられた「減債積立金」（企業債償還のための積立金）や、減価償却費など現金支出がない費用計上により、その分の現金が企業内に留保される「損益勘定留保資金」など。なお、不足額を補填した残額は翌年度の補填財源として繰り越して使用できる。

ま行**マンホールポンプ場**

地形上の制約から自然流下で汚水を流せない場合に、マンホールの中にポンプを設置し、汚水をくみ上げるための設備のこと。

水安全計画

安全でおいしい水を供給し続けるため、水源から蛇口までの各段階において、水道水の安全をおびやかすさまざまなリスク（危害）を把握、分析し、対応方法をあらかじめ準備しておき、危害が発生した場合、迅速・的確に対処し、水道水の安全性を確保するシステムのこと。

水運用

水源から需要者へ安定的に給水を行うため、水源水量予測及び配水量予測に基づき、原水及び浄水の適正な配分計画を立て、取水から配水まで水道施設全体の中で水を効率的に運用すること。

MICS処理施設

公共下水道の汚水と浄化槽から排出される汚泥などを両方処理できる施設のこと。

これまで汚水や浄化槽汚泥は、管轄する省庁が異なるためそれぞれ別の施設で処理されていたが、処理過程に共通する部分があることに着目し、各省庁の壁を越えた効率的な処理施設の整備が可能となった。

M inistry (ミニスリー)：省庁
I ntelligence (インテリジェンス)：情報収集、知識
C omprehensive (コンプリハンプ)：包括的な
S ystem (システム)：制度

無ライニング铸铁管

現在のダクタイル铸铁管は、腐食を防ぐため内面がモルタルや樹脂などでライニングされているが、それらが施されていない铸铁管のこと。

や行

予防保全

設備や部品ごとに使用する年数をあらかじめ決めておき、故障していなくてもその設備などを計画的に更新する保全方法のこと。

ら行

ライフサイクルコスト

施設における新たな整備から、維持修繕、改築、処分を含めた生涯費用の総計のこと。

リーフレット

宣伝、広告、案内、説明のため、1枚の紙に刷られた印刷物のこと。

リン回収

世界的にリンの原料となるリン鉱石の枯渇が懸念されている中、下水の排水などに含まれるリンを回収し、再資源化すること。